

IMF サーベイ

無料データ

IMF のオンライン経済データ、
無料アクセス開始

IMF サーベイ
2015年1月26日



新しい IMF のデータプラットフォームで、データのダウンロードや共有が可能になる。（写真：Ingram Publishing/Newscom）

- IMF のオンラインデータ、無料公開
- 新たなデータプラットフォームで、データのダウンロードや共有が可能に
- 良いデータは、健全な政策決定を支える上で不可欠

ポイント：2015年のスタートとともに、国際通貨基金（IMF）は、オンラインの経済データを無料で一般に公開している。ユーザーは、大部分の IMF 加盟国の全経済セクターを網羅した豊富なマクロ経済データにアクセスすることができる。

2015年のスタートとともに、国際通貨基金（IMF）は、オンラインの経済データを無料で一般に公開している。ユーザーは、大部分の IMF 加盟国の全経済セクターを網羅した豊富なマクロ経済データにアクセスすることができる。

良いデータは、政策担当者がマクロ経済・金融の脆弱性を特定し、これを管理する手助けとなる。IMF のオンライン無料データプログラムは、データ利用の拡大、透明性の向上及びより良い政策の選択を促すことを狙っている。

[第2回 IMF 統計フォーラム](#)でこの決定を発表したクリスティーヌ・ラガルド IMF 専務理事は、同無料データプログラムについて「これにより、われわれのデータを利用するすべての人々が、予算の数字から、国際収支データ、債務統計から主要なグローバルな指標までを網羅した、この貴重な統計の情報源をより適切に利用することができよう」と述べた。

新たなデータプラットフォーム

このデータの無料公開に向け、IMF は、データ公表能力がアップしたデータ・ポータルを新たに立ち上げた。これにより、ユーザーは、いくつか例を挙げるならば、時系列検索や、ポータルにアクセスしビジュアルライゼーションを作成したり、さら

には、データセットやデータニュース、関連文書を発見することが可能になった。時系列データは、今後の分析のためにワークブックにおさめることもできる。

この新しいデータプラットフォームにより、IMFがその加盟国と世界中のユーザーにデータと統計を提供する手段が一層優れたものになる。ユーザーは、国際的に承認された統計手法で収集された各国間で比較可能な広範なマクロ経済データにアクセスできるようになる。

データプラットフォームは、経時的な変化を示した相互交流が可能な、よりダイナミックなデータ・ビジュアライゼーションを提供する。また、このプラットフォームはあらゆるデータのナラティブ及び分析要素を強化し、ユーザーのデータ経験をカスタマイズすることができる。

新たなプラットフォームは、データのビジュアル化、ダウンロード、検索そして共有に貢献すると期待される。

無制限のデータセット

IMFデータの多くがすでに無料となっている。しかし、歴史的に、「国際金融統計」、「輸出入貿易統計」、「国際収支統計」、及び「政府財政統計」で集計・公表されるデータは、購入ベースとなっている。IMFは、オンライン・データセットの有料制度を廃止したが、印刷版は、送料及び印刷代をカバーする理由で今後も有料とする。

新たな無制限データには以下のものが含まれる：

- **国際金融統計 (IFS)**。国際金融統計は、継続的にアップデートが行われる、国際・国内の金融のあらゆる側面に関する国際データの完全版といえる。世界の大半の国について、多国間決済の問題や、インフレ及びデフレの分析に必要な最新のデータ、つまり、為替相場のデータや国際流動性、資金と銀行、金利、物価、生産、国際取引、政府勘定、そして国民経済計算に関するデータを収録している。
- **国際収支統計 (BOP/IIP)**。各国・各地域、その他の報告機関の国際収支及び国際投資ポジション (IIP) のデータをカバー。また国際収支の主要素については、地域あるいは世界レベルでの総合的データも 1960 年まで遡ることができる。
- **政府財政統計 (GFS)**。包括的な年次 GFS データは、関連した一般政府、中央政府、州・地方政府といった、様々なレベルの政府をカバー。GFS データは、政府の予算内財政運営・枠外財政運営に関するデータを 1990 年まで遡ってカバーした政府の組織構造別のメタデータにより補完されている。

- **輸出入貿易統計 (DOTS)**。DOTSは、国または地域間の貿易パートナーとの輸出入のデータを示す。1980年まで遡ることができる。こうしたデータが入手不可能な場合は、報告されるデータは、貿易の世界全体像を示すために、推定値によって補完される。

より良い政策の選択

データは、より良い政策の選択を支える重要な基盤である。信頼できるタイムリーな経済データがなければ、経済の転機をはっきりと特定することも、あるいは後に政策の調整や転換が必要となる迫り来るリスクを見極めることはできない。ラガルド氏は「IMFは、今後も、健全な政策決定を支えるうえで必要な公的な情報の、重要な情報源であり続ける」と断言した。

関連リンク

プレスリリースを読む、<http://www.imf.org/external/np/sec/pr/2015/pr1514.htm>

ビデオを見る、<http://youtu.be/VsZ-vweL8OU>

第2回 IMF 統計フォーラム、

<http://www.imf.org/external/np/seminars/eng/2014/statsforum/>

新しいデータプラットフォーム、<http://data.imf.org>

IMF データ・ヘルプ (ナレッジベース) 、<http://datahelp.imf.org/>